

確認書

大洋リアルエステート株式会社
代表取締役
社長 堀内 正雄 様

私共は、貴殿のご要請で2011年3月25日貴殿と私共計3人で東銀リース株式会社を訪問する為、同社が入居するビルの入口に同日午後12時50分頃に到着しました。

偶然、堀内社長は見ておられませんでした。同ビル一階の前方正面入り口に入って来た男性の中で二名の方が非常に奇異に感じる行動を取ったので、貴殿にあれは誰だ?とお伝えしました。

貴殿がこの二名の方向を振返られると同時に、この人物らは左手で顔を隠したふりをし、背をかがめて、こちらから見れば向かって左の方向に慌てて逃走しました。貴殿はこの二名は誰か解っていたらっしゃるようでしたが具体的な名前等はお話がなかったと記憶しています。

その後すぐ、同ビルのエレベーターで上階に上り東銀リースの受付に行った処、受付には誰もおらずどうしようかと考えていた処、奥の扉が急に勢いよく開き、見上氏が慌てて飛び出して来ました。私共は見上氏と面識はなく、貴殿がやあ見上さんと声をかけられたので初めて見上氏と解りました。

目的の見上氏との会議は午後1時頃には始まりました。この会議は貴殿が主となって見上氏に質問されたり経過を詳細に話しておられました。

話しているうちに自然に見上氏並びに東銀リース作成の2010年1月31日付決算書の具体的な質問に入っていました。その頃になって初めて私共も決算の項目について質問を始めかけた時に突然見上氏の携帯電話が鳴りました。見上氏は携帯電話に出て、「はい、はい」とだけ言って相手の話を聞いていました。その間ほんの10～15秒ではなかったかと思えます。電話終了後、見上氏は、私共に説明しかけた決算の一部を突然貴方達に説明する義務はないとして説明を途



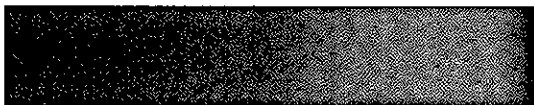
中で中止し他の話題に移してしまい、結局私共が聞きたかった事は見上氏は話されず、2011年1月31日(本年)決算を提出後再質問する事になりました。

処が、見上氏はTMKを最近突然破産に持ち込み、裁判所に提出した破産記録を見ても、本年3月31日の決算は出していません。もし出せば、2010年1月31日付決算書の粉飾が発覚するのを恐れていると我々は感じています。

上記2011年3月25日の見上氏との会談の状況を確認致します。

平成23年(2011年) 〆 月 〆 日

住所



氏名

村上

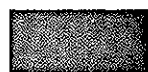


住所



氏名

黒田



高橋文仲

